

1 指定管理施設の概要

施設名	東舞鶴公園、泉源寺公園、前島みなと公園、舞鶴文化公園、伊佐津川運動公園、東体育館		
指定管理者	舞鶴スポーツネットワーク		
設置目的	市民が、生涯にわたりスポーツ活動に親しみ、様々なスポーツ・レクリエーション活動を行える施設として、また、市民ニーズに対応した各種スポーツ事業等の実施を通じて市民のスポーツ活動の振興を図り、健康の維持増進に資する施設として、さらには、大会誘致、合宿誘致などスポーツの観光交流を積極的に推進し、スポーツを通じた地域づくりに資する施設として、施設を拠点とした戦略的なスポーツ事業の展開を行うため。また、来園者に憩いの場、レクリエーションの場を提供するため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日
所管課	生涯学習部スポーツ振興課、建設部土木課		

2 利用状況等の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
利用者数(人)	315,654	214,589	328,017	331,600	289,031
利用料金(円)	48,738,998	29,826,549	41,645,166	53,100,839	43,834,019
指定管理料(円)	78,315,000	80,862,000	75,408,000	80,608,000	77,620,000

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
利用人数	320,000 人	360,000 人	289,031 人	80%
自主事業の実施回数	100 回(1200 回延べ)	1200 回	1187 回	98%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	43,834,019	人件費	73,761,814
指定管理料	77,620,000	維持管理費	28,413,438
事業収入	8,947,900	事業費	11,016,988
その他	8,498,659	その他	45,102,213
合計	138,900,578	合計	158,294,453
差額			△19,393,875

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	コロナ禍が明け従来どおりの運営となったものの、利用者数・自主事業数ともに目標には届かなかった。自主事業としては、子ども向けの新たなカテゴリーを導入することで、参加者数の増加に繋げ、市民のスポーツ・レクリエーション活動を行う施設として貢献いただいた。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	利用者へのアンケート結果や意見を反映し、コロナ禍から減少した利用者の回復・増加に努めるとともに、SNSの活用など新たな広報戦略を行うなど本市スポーツの普及・振興に資する運営が行われた。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	スポーツ・レクリエーション活動の実施環境の提供や、各種スポーツ教室の実施や合宿利用のほか、憩いの場として公園施設の利用の提供が行われた。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	市指定事業を計画どおり行い、自主事業においては目標数値には届かなかったものの、子ども向けの新たなカテゴリーを導入するなど様々な教室を開催し、教室参加者数を前年度比 115.4%の 10,415 名に増加するなど、計画達成に向けて務められた。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	コロナ禍前の大会開催数等に戻りつつあるものの、大会参加者数や一般利用等が減少したことから、利用者数は減少となった。対策として、SNS等を活用した広報など利用者増加に向けた取り組みが行われた。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	大きな苦情やトラブルも無く、利用者が増加する施設もあり、良好に管理運営されたものとする。

利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	幅広いアンケートの実施（QRコード＋紙）など、現場において、意見・要望の把握に積極的に取り組み、アンケートで出た意見を施設運営にも反映された。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	苦情は、随時市に報告され必要に応じ協議を行い、適切に対応された。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	△	柔軟なシフトコントロールや、スタッフのコスト意識向上、省エネの取組、スタッフによる修繕などによる経費削減の取り組みにより、維持管理費が前年度比△11.2%となったものの、物価高騰による事務費や委託料の増加により収支は赤字となった。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	◎	消耗品等について在庫管理から発注まで全施設分を集中管理することで、経費の削減が図られた。
収入増加のための取組が行われたか	○	幅広い年代の多様なニーズに応える教室やイベントの開催、物販、広報等（SNSも導入）を実施している。合宿誘致など更なる取り組みを期待する。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	計画書に示された人件費の中で計画どおり事業の実施及び施設利用の向上に向けて取り組みが行われた。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	定期的な研修により各個人のスキルアップが図られた。
施設の平等な利用が行われたか	○	条例、規則等に基づく平等な利用が行われた。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	個人情報の管理は適切に行われた。
情報の公開が適切に行われたか	○	HPや窓口などで適切に情報提供がなされた。
収支状況や会計処理が適切か	△	会計処理等に不備はないが、収支が大幅な赤字となっており、計画に即した事業運営を行われない。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	適切に行われた。
備品等の管理が適切に行われたか	○	点検票により定期的に点検が行われ、台帳はデータ等により適切に管理されている。
危機管理、安全対策などは十分か	○	体制整備やマニュアル等に基づいた点検、研修の実施など安全対策等は十分に図られた。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適正に行われた。
(5) その他コメント		
サービス向上	利用者アンケートから出た意見を運営に反映するなど、サービス向上・利用者増加に努められた。教室・イベントの開催においては、広報に努め昨年度より多くの参加者に参加いただいていることから次年度以降は、実施回数・参加者数ともに増加になるよう努めてほしい。	
経費削減	省エネ、省資源の取組やシフトコントロール、軽微な作業の自主実施、備品管理や発注のシステム化など、自社のソフト・ハード両面の強みを活用して経費の節減に努められている。今後も引き続き、更なる経費の削減に努めてほしい。	
施設の維持・管理	スポーツ施設、公園施設ともに適切な維持管理が行われた。施設の老朽化が進む中、適切な日常点検・維持管理を行い、迅速な修繕対応の実施など施設利用者の安心・安全を第一に管理いただいている。これからも、市との情報共有に努め、最小限の経費で効率的、効果的な維持管理運営に努めてほしい。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
○(良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
△(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	2.8点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	大幅な赤字の原因であるその他支出について、具体的な説明を望む。 経費面に問題を感じる。 自主事業の回数、内容については評価できる。 スポーツに親しめる内容を実施しているのはよい。	

《参考》 過年度の評価点

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均
3.5点	2.66点	3点	2.5点	2.91点